

子ども司書NEWS NO.1

令和3年7月15日発行 廿日市市教育委員会・はつかいち市民図書館

はつかいち市内の小学6年生を対象とした、令和3年度「子ども司書」養成講座が始まりました。7月3日(土)に講座の1回目である「全体研修」を行いました。



「子ども司書」とは、読書の楽しさ・大切さを学校や地域で広める、読書活動のリーダーとなる子どもたちです。

廿日市小	4名
宮内小	1名
地御前小	3名
阿品台西小	1名
金剛寺小	1名
宮園小	1名
四季が丘小	1名
大野東小	1名
大野西小	1名
津田小	1名
計	15名

子ども司書養成講座年間スケジュール

7月	8月	9月	10月	11月	2月
全体研修	実地研修 (地域の図書館)	秋の活動	(地域の図書館)	および学校	認証式

👉 今回はここ。研修のスタートです。

1、子ども司書になろう！

子ども司書になるには、次の6つのことをやりきる必要があります。

- ①全体研修(7月3日)に参加する。
- ②地域の図書館で「実地研修」に2日以上(合計4時間以上)参加する。
- ③「実地研修」の報告書を提出する。
- ④日本十進分類法の5種類以上の本を、それぞれ2冊以上読む。
- ⑤秋に、学校や地域の図書館で4回以上(合計4時間以上、そのうち1回は地域の図書館で)活動する。
- ⑥おすすめの本を1冊選び、他の人が読みたくなるポップを、文章やデザインを工夫してつくる。



2、日本十進分類法を学ぼう！

図書館の本は「日本十進分類法」という方法で本棚に並んでいます。「日本十進分類法」とは、0~9までの10個の数字を使って、本の内容ごとにジャンル分けし、同じ内容の本を同じ場所に集めるという方法です。

日本十進分類法(NDC)

0 総記	…図書館、読書など	5 技術	…生活や暮らしなど
1 哲学	…人の心や考え方など	6 産業	…農業、園芸など
2 歴史	…歴史、伝記、地理など	7 芸術	…スポーツや工作など
3 社会	…仕事や文化など	8 言語	…言葉や外国語など
4 自然	…算数、理科など	9 文学	…短歌、詩、物語など

図書館の本の背表紙には、その「日本十進分類法」に基づいてふられた数字（分類記号）と、作者の名前の頭文字（図書記号）が書いてあるシールが貼られています。そのシールのことを「請求記号」といいます。

913
ア
1

- … 分類記号 本の内容を表す
- … 図書記号 本を書いた人の名前の頭文字
- … 巻冊記号 シリーズの巻数

3、おすすめの本のポップを作ろう！ ★★☆☆☆☆

書店や図書館に行ったとき、本を紹介するカードが飾られていることがあります。そのカードのことを「ポップ」といいます。

おすすめの本を一冊選んで、他の人が読みたくなるように文章やデザインを工夫してポップを作りました。



ポップを作るコツ

- タイトルや作者名を書く。
- 内容を少しだけ紹介する。
- 本の中からキラキラ輝くことばをぬき出す。
- 内容にあわせてデザインやイラストを工夫する。
- その本のよさを伝えることば（キャッチコピー）を書く。

次は夏休みに地域の図書館で実地研修を行う予定です。



講座に参加した感想



みんなに本のおもしろさをわかってもらえるポップを作りたいです。

「日本十進分類法」では、図書室や図書館で読みたい本を探すのに大変だったことがありました。今日の研修で請求記号について習い、とても分かりやすいなと思いました。今度から本を探すときは、この記号で探したいと思います。

ポップ作りは楽しかったです。でも、どうしたら分かりやすいか、見やすいかなど工夫する点がたくさんあったので、むずかしいなと思いました。学校でたくさん本を読んでもらえるように何かしたいと思いました。

本は、みんなを笑顔にしていくことが分かりました。子ども司書になって、みんなの前で話せるようになりたいです。

これから、図書館ではどのような仕事をしているのかが知りたいです。今日の話を聞いて、友達にも教えてあげてたくさんの方が本を好きになってほしいです。

